2027年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年11月6日

上場会社名　株式会社 テクノメディカ　　上場取引所　東
コード番号　6678　URL https://www.TechnoMedica.co.jp
代表者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）實吉　政知
問合せ先責任者（役職名）取締役　経営管理本部長　（氏名）中原　志郎　TEL 045-948-1961

半期報告書提出予定日　2026年11月12日
配当支払開始予定日　―
決算補足説明資料作成の有無　：　有
決算説明会開催の有無　：　有

（百万円未満切捨て）

1. 2027年3月期第2四半期（中間期）の業績（2026年4月1日～2026年9月30日）

(1) 経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期中間期	4,453	8.5	468	75.7	485	65.0	321	58.2
2026年3月期中間期	4,104	△0.3	266	△12.6	294	△1.4	203	△8.4

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期中間期	48.94	―
2026年3月期中間期	29.31	―

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期中間期	15,491	13,224	85.4
2026年3月期	17,966	14,410	80.2

（参考）自己資本　2027年3月期中間期　13,224百万円　2026年3月期　14,410百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	―	0.00	―	―	129.00
2027年3月期	―	0.00			
2027年3月期（予想）			―	97.00	97.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　有

配当予想の修正については、本日（2026年11月6日）公表いたしました「配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2027年 3月期の業績予想（2026年 4月 1日～2027年 3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,300	△8.3	1,100	△34.1	1,100	△36.0	770	△28.1	111.64

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※　注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年3月期中間期	8,760,000 株	2026年3月期	8,760,000 株
② 期末自己株式数	2027年3月期中間期	2,422,938 株	2026年3月期	2,093,572 株
③ 期中平均株式数（中間期）	2027年3月期中間期	6,564,345 株	2026年3月期中間期	6,929,404 株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料「1．経営成績等の概況（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期の経営成績の概況 …… 2
（２）当中間期の財政状態の概況 …… 2
（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間貸借対照表 …… 4
（２）中間損益計算書 …… 6
（３）中間キャッシュ・フロー計算書 …… 7
（４）中間財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（セグメント情報等の注記） …… 8

１．経営成績等の概況

（１）当中間期の経営成績の概況

当中間会計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善や賃上げの進展を背景に、個人消費に持ち直しの動きが見られたほか、設備投資も堅調に推移し、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。

医療業界では、医療従事者のマンパワー不足、物価・人件費の上昇などを背景に、医療提供体制の維持が困難さを増す中、2026年の診療報酬改定では本体部分が+3.09％のプラス改定となったものの、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような経営環境のもと、当社は採血管準備装置のフラッグシップモデルであるBC・ROBO-9000RFIDを軸に、各医療施設における検査業務の効率化を提案してまいりました。検体検査装置に関しては、各施設のニーズに応じたラインナップを取り揃えて販売を続けてまいりました。消耗品等については、原材料費の高騰による影響を受けながらも、引き続き安定供給に努めてまいりました。

この結果、採血管準備装置・システムの売り上げが前年同期を上回り、当中間会計期間の売上高は4,453,648千円(前年同期比8.5%増加)となりました。なお、総売上高に対する海外売上高の占める割合は、前年同期比2.2ポイント減少し14.8%となりました。利益面に関しては、売上高の増加に伴い、売上総利益が2,155,645千円(前年同期比10.2%増加)となりました。販売費及び一般管理費は、前年同期比で微減となる1,687,433千円(前年同期比0.2%減少)、営業利益は468,211千円 (前年同期比75.7%増加)、経常利益は485,739千円(前年同期比65.0%増加)、中間純利益は321,252千円(前年同期比58.2%増加)となりました。

＜品目別の販売状況＞

・採血管準備装置・システム

当中間会計期間における採血管準備装置・システムの売上高は1,344,345千円(前年同期比22.3%増加)となりました。国内市場において主力モデルのBC・ROBO-9000RFIDの売上が伸長し、国内市場の売上高は1,200,197千円(前年同期比34.0%増加)となりましたが、海外市場においては、東アジア市場での売上が伸び悩み、売上高は前年同期を下回る144,147千円(前年同期比29.2%減少)となりました。

・検体検査装置

当中間会計期間における検体検査装置の売上高は246,476千円(前年同期比15.2%減少)となりました。国内外ともに競合が活発な市場環境が続いており、国内市場における売上高は132,824千円(前年同期比18.3%減少)、海外市場の売上高は、113,652千円(前年同期比11.2%減少)となりました。

・消耗品等

当中間会計期間における消耗品等の売上高は2,862,826千円(前年同期比5.5%増加)となりました。底堅い需要が続いており、国内市場の売上高は2,459,608千円(前年同期比4.6%増加)、海外市場での売上高は403,217千円(前年同期比10.7%増加)となりました。

（２）当中間期の財政状態の概況

当中間会計期間末の総資産の残高は15,491,603千円となり、前事業年度末比2,474,863千円減少しました。これは主に、売掛金が1,427,713千円減少、現金及び預金が537,466千円減少、電子記録債権が503,113千円減少したことによるものであります。

当中間会計期間末の負債の残高は2,267,573千円となり、前事業年度末比1,288,433千円減少しました。これは主に、買掛金が632,095千円減少、未払法人税等が307,992千円減少、未払消費税等が152,689千円減少したことによるものであります。

当中間会計期間末の純資産の残高は13,224,029千円となり、前事業年度末比1,186,429千円減少しました。これは、利益剰余金が中間純利益321,252千円の計上による増加があった一方で、配当金の支払859,969千円により538,717千円減少したことに加え、自己株式の取得等により自己株式が644,123千円増加したことによるものであります。なお、自己資本比率は85.4%となり、前事業年度末比5.2ポイント増加しました。

（キャッシュ・フローの状況）

当中間会計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）の期末残高は、8,438,760千円（前事業年度末比537,466千円減少）となりました。なお、当中間会計期間における各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

当中間会計期間において、営業活動により得られた資金は1,090,548千円（前年同期比821,017千円増加）となりました。これは主に、売上債権の減少額が1,956,891千円であった一方、仕入債務の減少額が632,095千円、法人税等の支払額が387,449千円であったことによるものであります。

当中間会計期間において、投資活動により支出した資金は82,426千円（前年同期比30,121千円増加）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が76,157千円であったことによるものであります。

当中間会計期間において、財務活動により支出した資金は1,545,587千円（前年同期比1,074,971千円増加）となりました。これは配当金の支払額858,908千円、自己株式の取得による支出686,679千円があったことによるものであります。

（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年５月11日付の2026年３月期決算短信で発表した2027年３月期の業績予想に変更はありません。

２．中間財務諸表及び主な注記

（１）中間貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 (2026年３月31日)	当中間会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,976,227	8,438,760
受取手形	26,064	－
電子記録債権	945,593	442,479
売掛金	3,411,052	1,983,339
商品及び製品	1,636,698	1,581,342
仕掛品	452,348	541,758
原材料及び貯蔵品	193,225	205,902
前払費用	41,640	143,366
未収消費税等	－	5,511
その他	13,192	2,447
流動資産合計	15,696,043	13,344,907
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,281,294	1,294,194
減価償却累計額	△836,206	△856,327
建物（純額）	445,087	437,867
構築物	5,042	5,042
減価償却累計額	△2,911	△2,981
構築物（純額）	2,131	2,061
機械及び装置	359,655	359,655
減価償却累計額	△289,173	△297,442
機械及び装置（純額）	70,481	62,212
工具、器具及び備品	306,858	307,061
減価償却累計額	△279,807	△277,998
工具、器具及び備品（純額）	27,050	29,062
土地	787,326	787,326
建設仮勘定	15,140	93,214
有形固定資産合計	1,347,218	1,411,743
無形固定資産		
電話加入権	1,177	1,177
特許権	173	86
ソフトウエア	45,663	37,955
ソフトウエア仮勘定	－	80
無形固定資産合計	47,014	39,300
投資その他の資産		
出資金	7,510	7,510
長期前払費用	204,490	94,214
繰延税金資産	563,693	488,104
その他	102,477	107,803
貸倒引当金	△1,980	△1,980
投資その他の資産合計	876,190	695,651
固定資産合計	2,270,423	2,146,695
資産合計	17,966,466	15,491,603

（単位：千円）

	前事業年度 (2026年３月31日)	当中間会計期間 (2026年９月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,299,448	667,352
未払金	193,343	227,264
未払費用	97,480	96,665
未払法人税等	394,372	86,380
未払消費税等	152,689	－
前受金	616,458	467,777
預り金	10,640	13,104
前受収益	98,303	117,393
賞与引当金	199,478	201,926
役員賞与引当金	19,125	－
製造終了損失引当金	－	96,250
その他	1,812	2,873
流動負債合計	3,083,152	1,976,987
固定負債		
退職給付引当金	245,208	255,439
製造終了損失引当金	192,500	－
その他	35,145	35,145
固定負債合計	472,854	290,585
負債合計	3,556,007	2,267,573
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,069,800	1,069,800
資本剰余金	985,762	982,173
利益剰余金	16,864,948	16,326,231
自己株式	△4,510,051	△5,154,174
株主資本合計	14,410,459	13,224,029
純資産合計	14,410,459	13,224,029
負債純資産合計	17,966,466	15,491,603

（２）中間損益計算書

（単位：千円）

	前中間会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
売上高	4,104,407	4,453,648
売上原価	2,147,513	2,298,002
売上総利益	1,956,894	2,155,645
販売費及び一般管理費	1,690,402	1,687,433
営業利益	266,491	468,211
営業外収益		
受取利息	8,267	13,098
受取配当金	0	0
為替差益	10,312	－
受取賃貸料	4,712	4,434
受取保険金	10,000	－
その他	1,592	1,422
営業外収益合計	34,885	18,955
営業外費用		
為替差損	－	1,428
遅延損害金	6,559	－
その他	483	－
営業外費用合計	7,042	1,428
経常利益	294,334	485,739
特別損失		
固定資産除却損	26	0
特別損失合計	26	0
税引前中間純利益	294,307	485,739
法人税、住民税及び事業税	91,607	88,898
法人税等調整額	△404	75,589
法人税等合計	91,202	164,487
中間純利益	203,105	321,252

（３）中間キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	294,307	485,739
減価償却費	47,467	43,470
退職給付引当金の増減額（△は減少）	3,900	10,231
製造終了損失引当金の増減額（△は減少）	－	△96,250
賞与引当金の増減額（△は減少）	△1,746	2,447
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	△14,625	△19,125
貸倒引当金の増減額（△は減少）	1,980	－
有形固定資産除却損	26	0
受取利息及び受取配当金	△8,267	△13,099
売上債権の増減額（△は増加）	1,491,242	1,956,891
棚卸資産の増減額（△は増加）	△443,940	△46,730
仕入債務の増減額（△は減少）	△884,526	△632,095
その他の資産の増減額（△は増加）	93,030	53,169
その他の負債の増減額（△は減少）	△234,710	△279,751
小計	344,140	1,464,898
利息及び配当金の受取額	8,267	13,099
法人税等の支払額	△82,877	△387,449
営業活動によるキャッシュ・フロー	269,531	1,090,548
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△46,061	△76,157
無形固定資産の取得による支出	△5,655	△524
差入保証金の差入による支出	△2,657	△7,522
差入保証金の回収による収入	2,069	1,777
投資活動によるキャッシュ・フロー	△52,305	△82,426
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	－	△686,679
配当金の支払額	△470,616	△858,908
財務活動によるキャッシュ・フロー	△470,616	△1,545,587
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△253,390	△537,466
現金及び現金同等物の期首残高	9,061,387	8,976,227
現金及び現金同等物の中間期末残高	8,807,997	8,438,760

（４）中間財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、2026年８月５日開催の取締役会決議に基づき、自己株式344,200株を取得いたしました。この結果、当中間会計期間において、自己株式が644,123千円増加し、当第２四半期会計期間末における自己株式は5,154,174千円となっております。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

前中間会計期間（自2025年４月１日 至2025年９月30日）及び当中間会計期間（自2026年４月１日 至2026年９月30日）

当社は、医療機器及びこれら装置で使用する消耗品の製造、販売を主たる事業とする単一セグメントであるため、セグメント情報は作成しておりません。